

○第8次中期計画の取り組み事項 総括

基本方針 (2)		協同組合の役割発揮による地域活性化への貢献	
重点方針	実践方策	総括	
1	総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮	<p>○組合員・職員が、多様な面で健康でいられる事業運営について検討し、健康増進活動や生活福祉事業の強化を通じた元気で豊かな地域社会を創造します。</p> <p>○生活関連事業の強化による地域を守る生活インフラ機能の充実と、新たな取り組みによる継続した機能の発揮に取り組みます。</p> <p>○個別資産相談の強化を図るとともに年金受給者数23,700人をめざし、地域実態・ニーズを踏まえた総合事業を展開し、利用者の利便性の向上に取り組みます。</p>	<p>○地域の高齢者が安心して暮らせる支援を、介護保険事業を中心に展開しました。今後もよりよいサービスの向上に努めます。また、役職員の健康増進のため歯科受診の向上に取り組みました。</p> <p>○厚生連や女性部と連携して健康推進活動に取り組みました。11月より陸地部で移動購買車運行を開始しました。今後も生活インフラ機能の発揮をめざします。</p> <p>○相続や資産形成・資産運用に関する相談会を定期的に開催しました。また、年金受給者数の拡大に向け、受給者大会や年金コンサートを開催しました。今後も組合員・利用者のニーズに的確に答えて、より高度な金融サービスを提供します。</p> <p>○Aコープ店舗は、生鮮部門強化による事業伸長に努めました。葬祭部は、事前相談会を実施し相談活動の推進を図りました。自動車燃料部は、訪問推進活動により新規車検獲得や電動車いすの推進を行うとともに、安全・安心なLPガス供給活動に努めました。</p>
2	多様な関わり・結びつきによる地域コミュニティの活性化	<p>○1支店1協同活動や食農教育等による多様な結びつきを通じた取り組みについて検討し、組合員とともに新たな絆づくりと地域コミュニティの活性化に貢献できる運営をめざします。</p> <p>○地域の学生との関わりや、地元企業・協同組合間連携等について模索し、ともに地域を守り抜くための取り組みを行います。</p> <p>○今治生活支援体制整備事業との連携により、元気高齢者への対応やアクティブシニアの発掘と結びつきを強化します。</p> <p>○総合事業を通じた各種イベントの実施による、地域の活性化に努めます。</p>	<p>○助けあい組織は、女性部との連携や男性協力員の発掘も含め、活動現場に出向き協力員の増員に取り組みました。</p> <p>○地域美化活動や料理教室の開催など、関係団体等と連携しながら組合員とともに地域活性化へ取り組み、食農教育を通じて次世代との交流を図りました。また、青壮年部や女性部とも連携強化を図り、教育文化活動・食農教育活動に積極的に取り組みました。</p> <p>○自動車と農機・金融など、事業部門を越えた合同展示会を開催することにより、幅広い地域住民とのコミュニケーションに努めました。今後も各部門が連携を取り、合同展示会等各種イベントを行います。</p>
3	正・准組合員のメンバーシップ強化・仲間づくり	<p>○住宅ローン利用者先への感謝訪問等、若年層とのつながりを意識した事業運営やサービスを強化し、複合利用・複合参加によるメンバーシップの強化を図ります。</p> <p>○JA組織基盤を支える新たな仲間づくりに向け、組合員数40,000人をめざした積極的な組合員メリットの創出を図ります。</p> <p>○協同活動を通じたJA参画への取り組みや組合員資格の見直しについて検討し、地域・組合員との絆の創造を図ります。</p>	<p>○住宅ローン利用者への感謝訪問を行い、次世代・若年層との付帯取引拡大を意識した活動を行い、複合利用の推進を行いました。</p> <p>○組織基盤強化に向け、食と農を基軸とした新たな組合員メリットの創出について、各部門と連携して検討を進めました。また、次世代組合員リーダー育成研修研究会へ参加して、次年度に組合員大学開校ができるように進めました。</p>